

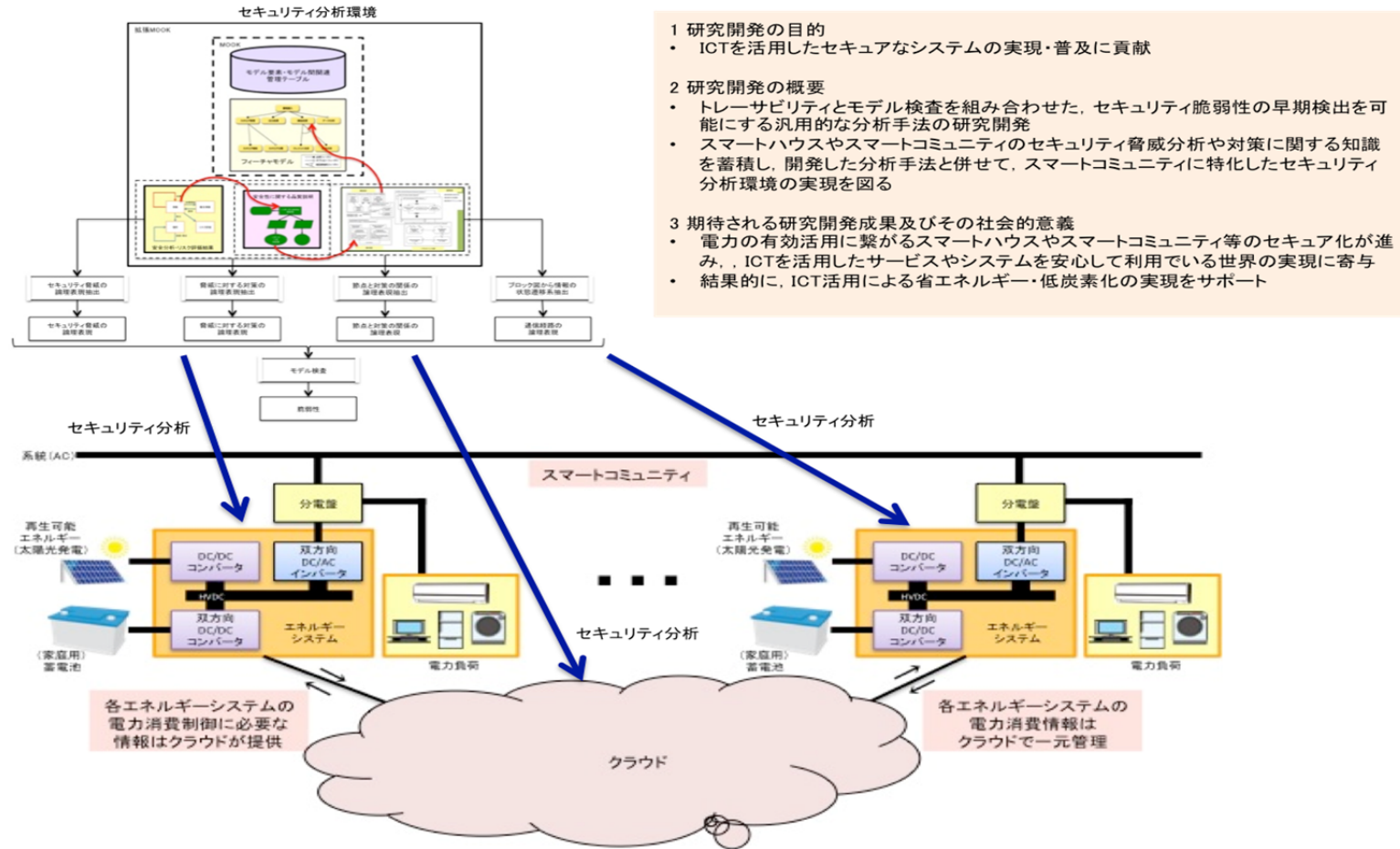
システム的设计工程におけるセキュリティ分析手法の研究開発

福田 晃

九州大学大学院情報システム科学研究所

研究開発期間：フェーズⅠ：平成26年度

フェーズⅡ：平成27年度～平成28年度



- 研究開発の目的
 - ICTを活用したセキュアなシステムの実現・普及に貢献
- 研究開発の概要
 - トレーサビリティとモデル検査を組み合わせた、セキュリティ脆弱性の早期検出を可能にする汎用的な分析手法の研究開発
 - スマートハウスやスマートコミュニティのセキュリティ脅威分析や対策に関する知識を蓄積し、開発した分析手法と併せて、スマートコミュニティに特化したセキュリティ分析環境の実現を図る
- 期待される研究開発成果及びその社会的意義
 - 電力の有効活用に繋がるスマートハウスやスマートコミュニティ等のセキュア化が進み、ICTを活用したサービスやシステムを安心して利用している世界の実現に寄与
 - 結果的に、ICT活用による省エネルギー・低炭素化の実現をサポート